

甚小だより

明日咲くつぼみ



あま市立甚目寺小学校

平成28年度 第15号

平成29年 2月20日

甚目寺観音節分会に参加

甚目寺のまちは、古くから甚目寺観音の門前町として発展してきました。その甚目寺観音の節分会は地域行事の1つでもあります。今年は甚目寺観音が尾張四観音の「恵方」（縁起がよい方角）にあたり、例年以上の賑わいを見せ、いくつかの報道機関も取材に訪れていました。6年生は、総合学習「われら歴史文化調査隊」の一環として、毎年、この行事に参加しています。2月3日の節分会に先立ち、1月31日に甚目寺観音の境内やお堂の掃除を行い、住職の方から節分会についての説明を受けての参加でした。尾張四観音の恵方は5年に一度（笠寺観音は5年に2回）。6年生は在学中2度目の「恵方節分」に巡り会ったこととなります。ふるさとへの思いを一層強くする機会となりました。



じもさん朝市

甚目寺観音では、毎月12日に「てづくり朝市」が開かれています。例年、5年生は、2月の朝市に「じもさんの店」として出店していますが、今年は2月12日が日曜日のため、「じもさん朝市」として2月9日（木）に体育館前で開催しました。

例年と違い、一般の方のお店と一緒に行くことができないことから、「人が集まるのだろうか」という心配があり、5年生の皆さんは1人でも多くの人に朝市に来ていただこうと「集客」のためのアイデアを練り実行しました。手作りの開催案内を作成し、家族や家族の知り合いへの配付、近隣の事業所に掲示等の依頼、学校HPや携帯メールでの配信など、手を使い、足を使い、頭を使い、PRに努めました。それが奏功したのか、例年以上の人出で賑わった「じもさん朝市」でした。

ここで大切なことは、「例年通りできない」という条件下で、どんなことが、どのようにできるのか考え、それを実行に移したことだと思います。それこそ、この取組の意義の1つでもあります。

夏休みの取材活動や出前授業などを通して、「かかわりやつながり」ができた皆様より、多くの「商品」を提供していただきました。厚く御礼申し上げます。

なお、収益金は、次年度の朝市のための運営資金（野菜等の栽培資金を含む）として活用する予定です。



“まとめ”の時期

学年末を迎えています。「1年間のまとめを」とよくいわれますが、どうすることがまとめとなるのでしょうか？人間関係を含め広い意味で学習したことすべてができるようになることが理想ですが、そんな人は大人でもいません。一つの考え方を紹介します。それは、1年間を振り返って「できるようになったこと」と「努力が必要なこと」を自分で整理し、自分の言葉で表現することです。ご家庭でもこのようなことが話題となれば、子どもたちの“まとめ”の意識も高まるのではないのでしょうか。

